

子どもが安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- * 『自分で動く 全力でやりぬく』 授業の実現
- * 『相手を思いやれる』 子どもの育成
- * 『3にもを大切に作る』 子どもの育成

【未然防止】

- * 3にもハッピータイムで異学年交流の機会などを設定する。
- * 授業を通して、「居場所」と「つきたい力」を子どもがもてるようにする。
- * 『相手を思いやれる』子どもを育成する。
- * 生活指導*特別支援教育指導を通して、生活のきまりを守り、正しく判断する子を育てる。
- * 特別活動を通して、『3にも（自分にも相手にもみんなにもよいことを考えよう!）』を実践する子を育てる。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・思いやり、助け合うことができる（児童）89%
- 本年度は95%達成を目標として継続して取り組む

【早期発見】

- * 『校内アンケート』を活用する。
- * 日常の『日記』『連絡帳』等に書かれた子ども保護者の声を受けとめる。
- * 子どもの『表情』*『しぐさ』*『行動』等から『なぜ、そうなのか（原因）』を考え、見つめる。
- * 生徒理解研修（子どもを語る会）の実施を通して全職員で子どもの情報を共有する。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・相談できる友達や先生がいる（児童）87%
- 本年度は95%達成を目標として継続して取り組む

【早期対応】

- * 毎週の夕打ちで気になる児童について報告をする。
- * ケース会議を設定する。
- * 関係機関との連携を進める。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・安心安全な学校づくりに努めている（保護者）89%
- ・安心安全な学校づくりに努めている（教員）95%
- 本年度も90%達成（保護者）を目標として継続して取り組む

【PTAや地域との連携】

- * 学校だより、学年だよりを発行する。
- * 学校運営協議会での情報交換、情報収集

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

- * 各学級での『3にも』掲示板を活用する。
- * 学級活動、朝・帰りの会を充実したものにする。
- * 情報モラルの動画視聴をし、考えを交流する。
- * 人間関係づくりプログラムなどを参考に、人権感覚を涵養する。

【いじめ対策委員会】

- 委員
校長・教頭・教務主任・
養護教諭・生徒指導主任・
特別支援教育コーディネーター・
該当学年部・SC・PTA会長

【職員研修・指導体制】
【取組等の点検】

- * 生徒指導研修会を行う。
（担任の悩みを全校職員が共有し改善策を構築する。）
- * SCを講師とした生徒指導研修会を行う。
（いじめ早期発見に向けた研修を積み重ねる。）
- * 問題対応については、早期に報告し、常にチームで対応する。
- * 生徒指導部会や職員会議で、各学年の状況について話し合い、指導の重点などを共通理解する。
- * 生徒指導提要の「いじめ」の項目などを活用し、研修を行う。

【関係機関との連携】

- * 教育政策課生徒指導担当
- * 藤枝警察署
- * 子ども家庭課
- * 子ども発達支援センター
- * 児童相談所
- * SC
- * SSW
- * 通級指導教室など